

共催：総合地球環境学研究所「多元世界プロジェクト」

プログラム

●趣旨説明

「宝が池の森」の自然環境が生みだす市民の活動と多元価値

柴田昌三／「宝が池の森」保全再生協議会会長

●「宝が池の魅力向上のための京都市の取組」

京都市建設局みどり政策推進室

▼「宝が池の森」保全再生協議会の活動はこちら



<https://takaragaike.takara-bune.net>

第Ⅰ部 「宝が池の森の活動紹介—市民の自主的活動」

13:30～

1. 里山のプレイパークから発進、あそび文化と森育て
野田奏美／（公財）京都市都市緑化協会
2. なぜ私たちは、宝が池で活動するのか
高谷淳／京都宝の森をつくる会
3. 松ヶ崎立正会による森と送り火を守る活動
岩崎正彦／（公財）松ヶ崎立正会
4. 森で育む子どもの生きる力
石川麻衣子／（一社）森のようちえん「どろんこ園」
5. 落ち葉コンポストがつなぐ森と地域
松本恵生／京都市岩倉地域包括支援センター



第Ⅱ部 「宝が池の森での活動が持つ意義—研究者の視点」

14:40～

1. 森とともにある子どもたち
丹羽英之／京都先端科学大学バイオ環境学部
2. 森の再生・ネイチャーポジティブを促す社会動向と制度
西田貴明／京都産業大学生命科学部
3. 「宝が池の森」保全再生協議会が持つ意義
鎌田磨人／徳島大学大学院
社会産業理工学研究部社会基盤デザイン系
4. 「宝が池の森」での活動に見る多元世界
ハイン・マレー／京都府立大学農学
食科学部 和食文化科学

第Ⅲ部 総合討論—「宝が池の森のこれから～課題と展望」

16:00～

パネルディスカッション

『「宝が池の森」のこれから～展望と課題』

進行：鎌田磨人

パネリスト：柴田昌三、ハイン・マレー、
丹羽英之、西田貴明 <順不同>

